

トモンハナバチ

兵庫県：要調査

Anthidium septespinosum

環境省： —

種の概要

体長は15mm前後。体色は黒色で、腹部背板にメスは5対、オスは6対の黄紋を持つ。夏に出現し、竹筒やヨシの筒に営巣する。育房のしきりにヨモギの綿毛を使う。

(画像無し)

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

尼崎市、宝塚市、神戸市、三田市、明石市、加古川市、高砂市、西脇市、小野市、加東市、姫路市、たつの市、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
					○

特記事項

新規追加種

環境省の対象種ではないが、数県で絶滅危惧種に指定されている。県内では南部での記録は少なくないが、中北部ではほとんど記録がなく、調査が必要である。

保護上の留意点